

～ 国際研修 ～

ミャンマー法整備支援プロジェクト第3回本邦研修

国際協力部教官

野 瀬 憲 範

第1 はじめに

- 1 2015年（平成27年）3月2日から3月13日まで¹、ミャンマー法整備支援プロジェクト（以下「本プロジェクト」という。）第3回本邦研修（以下「今次研修」という。）が行われた。
- 2 本プロジェクトは、(1)ミャンマーが直面する喫緊の立法課題への対応能力の強化（立法起草・法案審査能力向上支援）、(2)両機関所属の裁判官及び検察官の人材育成の基盤整備を内容としており、これまでに、2014年（平成26年）5月及び同年11月に、カウンターパート機関である連邦最高裁判所及び連邦法務長官府を対象に、2回の本邦研修を実施したところである²。
- 3 これまでに実施した本邦研修と比較して、今次研修は、カウンターパート機関以外から、大統領府及び議会関係者が研修員として参加しているという点に特徴がある。すなわち、今次研修は、各機関の相互の連携（横の連携）の重要性を含めてミャンマーにおける立法過程全体の効率化を対象とすることから、大統領府法律顧問、議会³法案委員会事務局からの研修員が含まれている点に特徴がある。

以下、今次研修の概要等を紹介するが、本稿中、意見にわたる部分は、もとより私見である。

第2 ミャンマーの背景事情及び研修目的

- 1 ミャンマーでは、2015年11月に控える総選挙前までに、100を超える法律の新規立法・改正が必要とされているところ⁴、その進捗状況は芳しくない。その理由としては、種々の要素が考えられるが、立法プロセスにも問題があると考えら

¹ 移動日を含まない。別添日程参照。

² ICD NEWS 60号、62号参照。

³ ミャンマー議会は、連邦議会、民族代表院、国民代表院と日本語訳されることがあるが、本研修においては、わかりやすさを優先し、それぞれ合同院、上院、下院と標記することとした。

⁴ 例えば2014年6月3日及び同月4日の国営紙「Myanmar Allin」によると2011年1月31日の時点で401の法律が存在し、136件の法律について法律が廃止（9件）、改正（67件）、代替（廃止・再編）（41件）、新規策定（19件）されるべきであるとのリストが連邦議会に提出されたとのことである。

れる。例えば、各法律を所管する各省に法律専門家はおろか、法案作成に携わった経験を有する職員がほとんど存在しないことや、各省が法案を作成するに当たって、法律専門家（連邦法務長官府職員）の知見や助言を得る機会がないこと、連邦法務長官府において法案に対する助言を与えるだけの能力を有する職員が限られていること、複雑な審査プロセスを経る必要があること、関係機関の協働態勢がほとんどみられないことなどが挙げられる。これらの問題を解決して、必要とされている新規立法・改正を遂げるためには、立法プロセスをスリムかつ効率化することが必要不可欠である。

- 2 そこで、今次研修では、ミャンマーの抱える立法プロセスにおける上記問題点を踏まえ、「立法過程全体の効率化」をテーマとして、研修を行い、ミャンマー側に対し、政治体制などの実情に沿った形で、効率的かつ国民の意見を十分に反映し得る制度を構築できるよう、有用な知見を提供することを目的として研修を実施することとした。

第3 研修の概要

今次研修のプログラムは、大きく、①日本を含む諸外国の立法プロセスの紹介（それぞれの国家が採用する政治体制と関連づけながら紹介）、②日本の立法プロセスに関連するアクター⁵の役割・課題の紹介、③ミャンマーの立法プロセス全体⁶を俯瞰し、課題を抽出するといった作業に関するもので構成した。

以下講義等のアウトラインについて簡単に記載する。

1 日本を含む諸外国の立法プロセスの紹介

(1) 日本の立法過程～諸外国との比較を交えて

早稲田大学法学学術院法務研究科の長谷部恭男教授から、法の支配（諸原則と、法の支配の意義と限界）、議院内閣制（日本国憲法の採用する政治体制、アメリカ、フランス、イギリスとの違い、違憲審査制）、立法の準備作業（内閣提出法案と議員提出法案の準備作業）、内閣法制局（法案の審査、法律問題に関する意見）について講義が行われた。



長谷部教授の講義

(2) ASEAN 諸国における立法過程について

日本貿易振興機構アジア経済研究所の今泉慎也課長 / 主任研究員から、

⁵ 省庁、衆議院法制局、関係団体など。

⁶ 各省や連邦最高裁判所での起草、連邦法務長官府での審査、閣議決定、議会での審議・採決。

ASEAN 諸国のうち、タイの立法過程に焦点を当て、新興民主主義国が直面する二つの課題、すなわち、新興民主主義国の不安定な議会のもとで立法をどのように管理するか、という点と、優秀な立法専門家をどのようにして管理するか、という点を中心に講義が行われた。



今泉主任研究員の講義

(3) 立法過程のルール化及び関係者間での共有の重要性について

慶應義塾大学法科大学院の松尾弘教授から、標記テーマで講義が行われた。松尾教授からは、立法過程は、①調査・研究段階、②法律案の作成段階、③国会審議の段階の三つに大別されることについて説明があった。さらに、同教授から、③をはじめとする一部には憲法や法律に規定があるが、それは立法過程の一部に過ぎず、その他の部分についても必要に応じルール化することの重要性（法律を作るというルールを作るためのルール（メタ・ルール）を明確に、関係者間で共有することの重要性）について、カンボジアにおける例（土地法と民法、民法と商事契約法など）を挙げながら講義が行われた。



松尾教授の講義

2 日本の立法プロセスに関連するアクターの役割・課題の紹介

(1) 実務に応じた柔軟かつ迅速な法改正の必要性について

ミャンマーの証券取引所開設に関わっている日本取引所グループの高良美紀子調査役／弁護士から、標記講義が行われた。ミャンマー証券取引法は、今後、市場の成熟に伴い生じる様々な実務上の問題点に、投資者保護や市場の公正性確保の観点から柔軟かつ迅速に対応していくことが想定されており、また、改正を控えた関連法制との整合性や、国際標準への対応など、これからより一層実情に応じた法令改正を繰り返していく必要があると想定されているところ、そうした観点から、市場の公正を図るために柔軟かつ迅速に法令改正を行う必要性や、規制当局・取引所を含む市場関係者などとの協働により実務上の問題点を吸い上げる必要性などについて、日本における証券取引法令の沿革について、インサイダー取引規制と企業内容の開示制度を例にとった上、法改正過程において様々な



高良調査役の講義

意見をどのように反映するか、立法過程の課題と挑戦について講義が行われた。

(2) 民事関連法令／刑事関連法令の起草について

法務省民事局内野宗輝参事官から、①日本における法律制定過程、②民事局の所管法令の立案過程、③破産法の立案・制定過程について講義が行われた。

同刑事局榊局付から、自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律を例に、①刑事立法作業の企画・立案（所管事項を取り巻く現状を認識し、現行法制がどのようになっているのかなどについての分析・検討）、②内閣法制局を含む関係機関との協議などについて講義が行われた。



内野参事官の講義



榊局付の講義

(3) 官僚組織と立法過程について

東京大学先端科学技術研究センターの牧原出教授から、日本における内閣・省における意思決定と調整のメカニズムについて講義が行われた。分担管理原則による各省各庁による価値選択・政策展開が、国家目標が複雑化する過程で機能障害を露呈し、代わって、合議体としての内閣が実質的な政策議論を行い、トップダウン型の政策形成・遂行の担い手となり、省庁調整システムの要として機能していることなどについて、省庁再編等などの具体例も交えて講義が行われた。



牧原教授の講義

(4) 立法過程における関係団体の関与について

日本経済団体連合会（以下「経団連」という。）経済基盤本部の和田照子上席主幹（当時）から、経団連内部での意見形成プロセス、経団連から各省の審議会に委員を派遣し政策審議への関わり方などについて、会社法改正（コーポレートガバナンスに関する議論）、民法改正（債権法の議論）、独占禁止法、消費者法などを例にとり、講義が行われた。



和田上席主幹の講義

(5) 衆議院法制局への訪問等

衆議院本会議場，予算委員会等が開かれる衆議院第一委員室，両院協議会等が開かれる常任委員長室など衆議院（国会）の立法審議において重要な場所を御案内していただいた。引き続き，衆議院法制局の吉澤紀子法制企画調整部調査課長から、「日本の立法過程」というテーマで講義が行われた。吉澤課長から，議員提出法案の立法過程の概要，衆議院法制局の組織と職務（職員の採用や研修，育成等の内容も含む）などについて講義が行われた。



吉澤課長の講義

3 ミャンマーの立法プロセス全体を俯瞰し，課題を抽出する作業

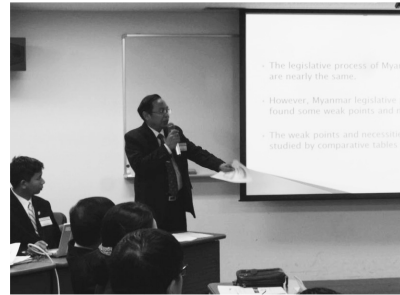
- (1) ミャンマーにおける立法過程（起草段階からの各機関の権限と役割などを含む）については，ミャンマーの各機関（からの参加者）によっても認識が異なることが予想されたことから，研修冒頭において，研修に参加している各機関から，各機関の立法手続への関わり方について⁷プレゼンテーションが行われた。
- (2) また，研修の後半には，今次研修から得た知見・教訓等を参考にして，ミャンマーが直面する立法過程の課題をどのように克服していくか，などについて，プレゼンテーションが行われた。
- (3) 詳細は，別添資料のとおりであるが，連邦法務長官府の役割等のうち，当プロジェクトと関わりが深いと考えられる法案審査機能に関係した部分について1点だけ発表から引用して御紹介する。

すなわち，連邦法務長官府からの発表では，連邦政府，その他連邦レベルの機関⁸は，議会に法案を提出することができるが，各省は法案を連邦法務長官府に審査のために送付し，各省以外の連邦レベルの機関は，必要があれば⁹連邦法務長官府に法案を送付するとの由である。また，連邦最高裁がコメントをつけて，各省等に法案を投げ返した場合，制度上，各省はそのコメントを反映させなければならない義務はなく，各省が議会に提出することが可能とのことである。

⁷ 「ミャンマーにおける立法過程の現状と課題」

⁸ 最高裁判所，憲法裁判所などもその他連邦レベルの機関である。

⁹ if necessary との表現。今次研修に参加していた最高裁関係者によると，これまでの例によると，最高裁所管の法案については，連邦法務長官府に送付しているとのことである。



左上から時計回りに、大統領府、連邦議会、連邦法務長官府、連邦最高裁からの発表風景

第4 おわりに

1 紙面の関係上割愛したが、今次研修の研修員は、日本側からの講義に際し、しばしば講義の時間を超過しても質問の手が挙がるなど積極的に質問する姿が見られた。

また、講義後に研修員から聴取したところ、ほぼ全ての研修員が講義内容につき「直接業務に活用できる、直接は活用できないが、業務に役立つ。」と回答し、講師の説明についても「分かり易かった。」と回答が得られるなど研修員の反応も好評であった。

さらに、発表を取り入れたことについても、こうした参加型の研修については、知識の整理に役立ったとの声が聞かれ、こうした手法に対する研修員の反応も好評であった。

2 今次研修がこのとおりの実り多い結果となったのも、講師の先生の皆様、快く訪問を受け入れていただいた見学先の皆様、その他関係者の皆様のおかげであり、皆様に心から感謝申し上げたい。

3 最後に、今次研修で得られた知見、教訓等を元にしたミャンマーにおける取組を御紹介して、今次研修の報告を終えたい。

今次研修には、長期派遣専門家3名が帯同していたところ、研修終了後、長期派遣専門家の働きかけ等もあり、連邦法務長官府において、チョウ・サン事務局長¹⁰をはじめとする幹部の前で、本邦研修の報告会が行われ、同報告会において、研修員から、①連邦法務長官府から、各省庁に対し、起草過程への専門家の関与やパブリックコメントの活用や事前の審査の導入などを推奨すること、②連邦法務長官府が効率的な審査を可能とするため組織改革を行うことや法案起草マニュアルを作成することなどについての提案があったとのことであった。

前記事務局長から、基本的には提案に賛成であるとの言葉があり、今後、ワーキンググループ活動で議論を行い、細部を詰めることとなった由である。

前記第3の3記載と関連し、連邦法務長官府が、他省庁の所管法令についてどの程度、実質的なコメントをすることができるかについては、依然、注視が必要であるが、帰国後、直ちに研修員が日本で得た知見を生かそうとしている姿勢、長期派遣専門家の情熱、カウンターパート機関の理解ある上層部の存在を見ると、本プロジェクト活動が活発になることが期待される場所である。

(編集部注記:本稿は、前号に掲載予定であったが、紙幅の都合上、本号に譲ったものであり、記載内容は、平成27年5月現在を基準としている。)

¹⁰ ミャンマーでは2015年当初に幹部公務員特別研修が行われ、2015年度から大臣や副大臣の交代期間・選挙運動期間中等に各省庁を代表して業務を遂行するための事務次官 (Permanent Secretary) 制度が導入されており、UAGOにおいては、チョウ・サン氏がこれに就任するとの話もあるが、本稿では、チョウ・サン氏について事務局長と表記している。

研修員によるプレゼンテーション①
 「ミャンマーにおける立法過程のプロセスと課題」

大統領府スライド資料

**Roles of the Office of the President and
 Presidential Legal Advisors in the Legislative
 Process**

Presidential Legal Advisor

- ❖ **The Union Government Law**
- ❖ **Formation of the Advisory body**
 - Section 23 (a) form the advisory body
 - Section 23 (b) the emolument, allowance and insignia
 - Determined by the Union Government and incurred from its fund .

Published on Myanmar President Office (<http://www.president-office.gov.mm/en>)
 Home > Republic of the Union of Myanmar President Office (Notification No. 53/2013)

**Republic of the Union of Myanmar
 President Office**
 (Notification No. 53/2013)
 1st Waxing of Wagaung, 1375 ME
 (7th August, 2013)

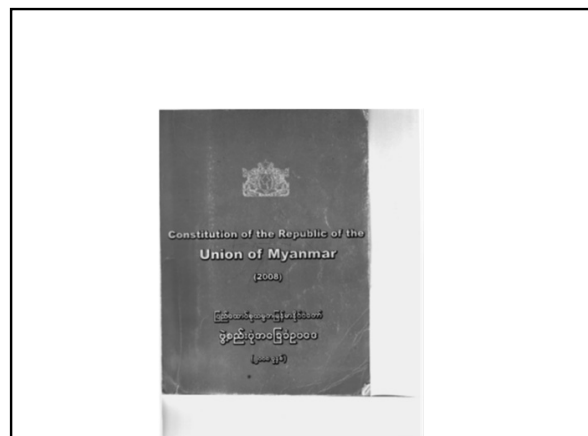
Appointment of Presidential Advisors

The following persons have been appointed as members of the Presidential Advisory Teams formed under the Notification No. 1/2011 dated 19-4-2011 and assigned duties shown against each.

- (a) Dr Aung Tun Thet Economic Advisory Team
- (b) Dr Zaw Oo Economic Advisory Team
- (c) U Nyan Naing Win Legal Advisory Team

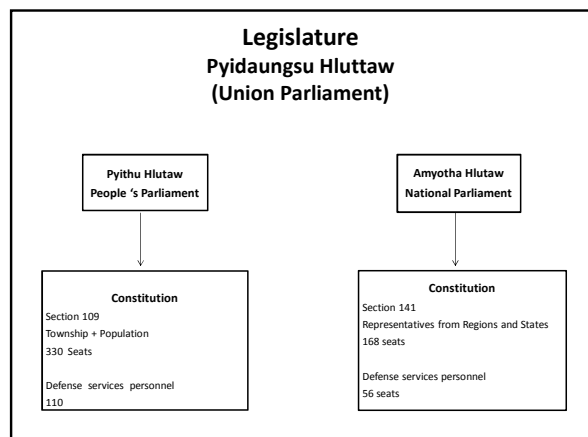
By order,
Zaw Than Thin
 Secretary
 Union Government

Source URL: <http://www.president-office.gov.mm/en/?q=briefing-room/notifications/2013/08/08/id-2524>



**The Constitution of the Republic of the Union of
 Myanmar
 section(11)
 Separation Power and Check and Balance.11(a)-**

Legislative	Executive	Judicial
-------------	-----------	----------



Pyidaungsu Hluttaw

- the Power to enact laws.
- which are prescribed in Schedules One of the Union Legislative List for the entire or any part of the Union.
- When the Pyidaungsu Hluttaw enacts a law, it may confer to the Union level organization to issue rules, regulations and by-laws concerning that law.
- Furthermore, it may empower the respective organization or authority to issue notifications, orders, directives and procedures.

Power to submit bill

- either Pyithu Hluttaw or Amyotha Hluttaw has power to submit the Bill by their own initiatives.
- if a Bill be initiated in the Pyithu Hluttaw or the Amyotha Hluttaw and if it is approved by both Hluttaws, the Bill is deemed to be approved by the Pyidaungsu Hluttaw.
- However, if there is any differences between the Pyithu Hluttaw and the Amyotha Hluttaw regarding the Bill, the Bill shall be discussed and resolved in the Pyidaungsu Hluttaw.
- Thereafter it is sent to the President for his assent and after the assent of the President the Bill becomes law.

Submit bill by the union level organization

- The Union level organizations have also right to propose the draft law relating to matters they administer and that included in the Union Legislative List to the Pyidaungsu Hluttaw.
- If a union level organization intends to make a new law, union level focal organization has to prepare the draft law and send it to the Union Attorney General's Office.
- When Union Attorney General's Office receive it, the Law Scrutiny and Vetting Department vet the draft law whether it is consistent with the existing laws and the Constitution.
- After that, the UAGO sends it back to the Ministry concerned, with opinion and comments.

- Focal Ministry revise the draft law and submit to the President office.
 - When the draft law is sent to legal advisors, it is vetted whether it is in conformity with the existing laws, constitution and international norms. And Legal Advisors submit Legal Advice or opinion to the President.
 - The President office send the findings to the Ministry concerned, for final drafting.
- >

- The Ministry prepares the draft law to be in conformity with the Legal Advice and submit it to the Hluttaws Bill Committee, through Cabinet's approval.
- As soon as Hluttaw receives the draft bill, publicize in the newspaper and website for public awareness and opinion.

- Bills is vetted by joint Bill Committee of both Hluttaws before submitting to the Pyidaungsu Hluttaw.
- If Pyidaungsu Hluttaw approves it become approved Bill.
- Pyidaungsu Hluttaw send the approve Bill to the president for signing.

- When the President received it and within 14 days after the day of receipt, the President may sign the Bill approved or the Bill deemed to be approved by the Pyidaungsu Hluttaw and promulgate it as law.
- The President ,within the prescribed period, may send the Bill back to the Pyidaungsu Hluttaw together with his comments.
- If the President does not send the Bill back to the Pyidaungsu Hluttaw together with his signature and comments within the prescribed period, or if the President does not sign to promulgate, on the day after the completion of that period, the bill shall become a law as if he had signed it.

- If the President sends the Bill back to the Pyidaungsu Hluttaw together with his comments within the prescribed period,
- the Pyidaungsu Hluttaw, after discussion of the President's comments, may accept his comment and
- resolve to amend the Bill or
- may resolve to approve the Bill as it is without accepting the President's comment.

- When the Bill which is amended in accord with the President comment or the Bill which is approved as it is without accepting the President's comment is sent back to him by the resolution of the Pyidaungsu Hluttaw, the President shall sign the Bill and promulgate it as law within seven days after receiving the Bill back.

- If the Bill sent back by the Pyidaungsu Hluttaw is not signed by the President within the prescribed period, it shall become law as if he had signed it on the last day of the prescribed period.

- The laws signed by the President or the laws deemed to have been signed by him shall be promulgated by publication in the official gazette.
- The Law shall come into operation on the day of such promulgation unless the contrary intention is expressed.

နိုင်ငံတော်သမ္မတလက်မှတ်ရေးထိုးခြင်းမပြုဘဲ ပြည်ထောင်စုလွှတ်တော်က ပြဋ္ဌာန်းခဲ့သောဥပဒေများ

၁။ ၂၀၁၂ ခုနှစ်၊ပြည်သူ့လွှတ်တော်ဆိုင်ရာဥပဒေ
(၂၀၁၂ ခုနှစ်၊ ပြည်ထောင်စုလွှတ်တော်ဥပဒေအမှတ်-၂၃ ဖြင့် ၂၆-၁၁-၂၀၁၂ ရက်တွင် ပြဋ္ဌာန်းသည်။)

၂။ ၂၀၁၂ ခုနှစ်၊အမျိုးသားလွှတ်တော်ဆိုင်ရာဥပဒေ
(၂၀၁၂ ခုနှစ်၊ ပြည်ထောင်စုလွှတ်တော်ဥပဒေအမှတ်-၂၄ ဖြင့် ၂၆-၁၁-၂၀၁၂ ရက်တွင် ပြဋ္ဌာန်းသည်။)

၃။ ၂၀၁၃ ခုနှစ်၊ တိုင်းဒေသကြီး သို့မဟုတ် ပြည်နယ်လွှတ်တော်ဆိုင်ရာဥပဒေ
(၂၀၁၃ ခုနှစ်၊ ပြည်ထောင်စုလွှတ်တော်ဥပဒေအမှတ်-၂၂ ဖြင့် ၆- ၈-၂၀၁၃ ရက် တွင် ပြဋ္ဌာန်းသည်။)

၄။ ပြည်ထောင်စုလွှတ်တော်ဆိုင်ရာဥပဒေကိုပြင်ဆင်သည့်ဥပဒေ
(၂၀၁၄ ခုနှစ်၊ ပြည်ထောင်စုလွှတ်တော်ဥပဒေအမှတ်-၂ ဖြင့် ၂၅- ၁-၂၀၁၄ ရက်တွင် ပြဋ္ဌာန်းသည်။)

၅။ ပြည်ထောင်စုလွှတ်တော်ဆိုင်ရာပုံနှိပ်ရေးရန်ပုံငွေဥပဒေ
 (၂၀၁၄ခုနှစ်၊ ပြည်ထောင်စုလွှတ်တော်ဥပဒေအမှတ်- ၉ ဖြင့် ၁၂-၃-၂၀၁၄ ရက်တွင် ပြဋ္ဌာန်းသည်။)

၆။ ၂၀၁၄ ခုနှစ်၊ စာရွက်တော်အမိန့်လျှောက်ထားမှုဆိုင်ရာဥပဒေ
 (၂၀၁၄ခုနှစ်၊ ပြည်ထောင်စုလွှတ်တော်ဥပဒေအမှတ်- ၂၄ ဖြင့် ၅-၆-၂၀၁၄ ရက်တွင် ပြဋ္ဌာန်းသည်။)

၇။ ပြည်သူ့လွှတ်တော်၊ အမျိုးသားလွှတ်တော်၊ တိုင်းဒေသကြီး(သို့) ပြည်နယ် လွှတ်တော်ကိုယ်စားလှယ်များနှင့် ကိုယ်ပိုင်အုပ်ချုပ်ခွင့်ရတိုင်း (သို့) ကိုယ်ပိုင် အုပ်ချုပ်ခွင့်ရဒေသဦးစီး အဖွဲ့ဝင်များ၏ ရုံးဖြင့်ငွေနှင့်စရိတ်များဆိုင်ရာ ဥပဒေ
 (၂၀၁၅ ခုနှစ်၊ ပြည်ထောင်စုလွှတ်တော်ဥပဒေအမှတ်၁၂/၂၀၁၅ ဖြင့် ၃၁-၁-၂၀၁၅ ရက်နေ့ တွင်ပြဋ္ဌာန်းသည်။)

နိုင်ငံတော်သမ္မတကသတောထားမှတ်ချက်ပြု၍ လက်မှတ်ရေးထိုး ပြဋ္ဌာန်းခဲ့သော ဥပဒေများ

၁။ ပြည်ထောင်စုစာရင်းစစ်ချုပ်ဥပဒေကိုပြင်ဆင်သည့်ဥပဒေ
 (၂၀၁၃ခုနှစ်၊ ပြည်ထောင်စုလွှတ်တော်ဥပဒေအမှတ်-၃ ဖြင့် ၂၁- ၁-၂၀၁၃ ရက်တွင်ပြဋ္ဌာန်းသည်။)

၂။ နိုင်ငံတော်ဖွဲ့စည်းပုံအခြေခံဥပဒေဆိုင်ရာ နံရိုးဥပဒေကို ပြင်ဆင်သည့်ဥပဒေ
 (၂၀၁၃ခုနှစ်၊ ပြည်ထောင်စုလွှတ်တော်ဥပဒေအမှတ်-၄ ဖြင့် ၂၁- ၁-၂၀၁၃ ရက်တွင်ပြဋ္ဌာန်းသည်။)

၃။ အင်္ဂတီလိုက်စားမှုတိုက်ဖျက်ရေးဥပဒေ
 (၂၀၁၃ခုနှစ်၊ ပြည်ထောင်စုလွှတ်တော်ဥပဒေအမှတ်-၂၃ ဖြင့် ၇- ၈-၂၀၁၃ ရက်တွင်ပြဋ္ဌာန်းသည်။)

၄။ တောင်သူလယ်သမားအခွင့်အရေးကာကွယ်ရေးနှင့်အကျိုးစီးပွားမြှင့်တင် ရေးဥပဒေ
 (၂၀၁၃ခုနှစ်၊ ပြည်ထောင်စုလွှတ်တော်ဥပဒေအမှတ်-၃၂ ဖြင့် ၈-၁၀-၂၀၁၃ ရက်တွင်ပြဋ္ဌာန်းသည်။)

Non Signing Statement

No.	Law	Law No. and Date
1.	The Law Relating to the Pyithu Hluttaw 2012.	23/ 26-11-2012
2.	The Law Relating to the Anyotha Hluttaw.	24/26-11-2012
3.	The Law Relating to the Region or State Hluttaw 2013.	22/6-8-2013
4.	The Law Amending Pyidaung Hluttaw.	2/25-1-2014
5.	The Law Relating Pyidaung Hluttaw development fund.	9/12-3-2014
6.	The Law Relating to Application of Writs 2014.	24/5-6-2014
7.	The Law Relating to the Emoluments, Allowances and insignia of member of Pyithu Hluttaw , Anyotha Hluttaw and Region or State Hluttaw.	1/31-1-2015

Signed with Signing Statement

No.	Law	Law No. and Date
1.	The Law Amending the Union Auditor General of the Union Law.	3/21-1-2013
2.	The Law Amending the Constitutional Tribunal of the Union Law.	4/21-1-2013
3.	Anti Corruption Law.	23/7-8-2013
4.	The Law of Protection of the Farmers Rights and Enhancement of their Benefits.	32/8-10-2013

Committee for cooperation of Legislative process

ဥပဒေပြုရေးဆိုင်ရာပူးပေါင်းဆောင်ရွက်ရေးလုပ်ငန်းကော်မတီဖွဲ့စည်းခြင်း(အမိန့်ကြော်ငြာစာ (အမှတ်) ၇၂ / ၂၀၁၃)

ပြည်ထောင်စုသမ္မတမြန်မာနိုင်ငံတော်
ပြည်ထောင်စုအဖိုးရအဖွဲ့
အမိန့်ကြော်ငြာစာ
(အမှတ်) ၇၂ / ၂၀၁၃)

၁၃၇၅ ခုနှစ်၊ သီတင်းကျွတ်လပြည့်ကျော် ၆ ရက်
 (၂၀၁၃ ခုနှစ်၊ အောက်တိုဘာလ ၂၅ ရက်)

ဥပဒေပြုရေးဆိုင်ရာ ပူးပေါင်းဆောင်ရွက်ရေး လုပ်ငန်းကော်မတီ ဖွဲ့စည်းခြင်း

၁။ ဖွဲ့စည်းပုံအခြေခံဥပဒေပြဋ္ဌာန်းချက်နှင့်အညီဥပဒေပြုလွှတ်တော်များသည် ဥပဒေကြမ်း တစ်ရပ်ကိုနည်းလမ်းတကျစတင်လက်ခံရသည်အချိန်မှစ၍ ဆွေးနွေး အတည်ပြုပြီး နိုင်ငံတော်သမ္မတက ဥပဒေအဖြစ်ထုတ်ပြန်ရေး လက်မှတ်ရေးထိုးရန် ပေးပို့သည်အထိ အကောင်အထည်ဖော် ဆောင်ရွက်ပါသည်။ နိုင်ငံတော်သမ္မတသည် ဖွဲ့စည်းပုံအခြေခံ ဥပဒေက ပေးအပ်ထားသော အခွင့်အာဏာအရ ပြည်ထောင်စု လွှတ်တော်က အတည်ပြု ပြီးသော သို့မဟုတ် အတည်ပြုပြီးသကဲ့သို့ဖြစ်သော ဥပဒေကြမ်း တစ်ရပ်အား ဥပဒေအဖြစ် ထုတ်ပြန်ရန် လက်မှတ်ရေးထိုးခြင်းကို ဆောင်ရွက်ပါသည်။

ဥပဒေပြု လွှတ်တော်များနှင့် နိုင်ငံတော်သမ္မတသည် နိုင်ငံတော်နှင့် နိုင်ငံသားများ၏ အကျိုးအတွက် တူညီသောအခွင့်အလမ်းကို လိုအပ်သော ဥပဒေများ အသစ်ပြဋ္ဌာန်းခြင်း၊ ပြင်ဆင် ပြဋ္ဌာန်းခြင်းနှင့်ရုပ်သိမ်းခြင်းတို့ကို ဆောင်ရွက်နေခြင်းဖြစ်ပါသည်။

၂။ ဥပဒေပြုလွှတ်တော်များသည် ဥပဒေကြမ်းတစ်ရပ်ကို ဥပဒေပြဋ္ဌာန်းချက်နှင့်အညီ လက်ခံရရှိပြီး ပြည်ထောင်စုလွှတ်တော်က အတည်ပြုပြီးသည်အထိ ဆောင်ရွက်သည် လုပ်ငန်းစဉ်များတွင် ပူးပေါင်း ဆောင်ရွက်ရန် ဒုတိယရှေ့နေချုပ် ဦးဆောင်သော ဥပဒေပြုရေးဆိုင်ရာပူးပေါင်းဆောင်ရွက်ရေးလုပ်ငန်းကော်မတီကို အောက်ပါ ပုဂ္ဂိုလ်များ ဖြင့်ဖွဲ့စည်းတာဝန် ပေးအပ်လိုက်သည်-

(က) ဦးထွန်းထွန်းဦး
 ဒုတိယရှေ့နေချုပ်၊ ပြည်ထောင်စုရှေ့နေချုပ်ရုံး

ဥက္ကဋ္ဌ
 (ခ) ဒေါ်ထူးထူးထွန်း
 ညွှန်ကြားရေးမှူး၊ ပြည်ထောင်စုရှေ့နေချုပ်ရုံး
 အဖွဲ့ဝင်

(ဂ)ဦးဆောင်နိုင်
ညွှန်ကြားရေးမှူး၊ ပြည်ထောင်စုရှေ့နေချုပ်ရုံးအဖွဲ့ဝင်
(ဃ) ဦးမင်းဆွေ
ဒုတိယညွှန်ကြားရေးမှူး၊ ပြည်ထောင်စုရှေ့နေချုပ်ရုံး
အဖွဲ့ဝင်
(င)ဦးသန့်စင်
ဒုတိယညွှန်ကြားရေးမှူး၊ ပြည်ထောင်စုရှေ့နေချုပ်ရုံး
အဖွဲ့ဝင်
(စ)ဦးဝင်းမြင့်
ဒုတိယညွှန်ကြားရေးမှူးချုပ်၊ ပြည်ထောင်စုရှေ့နေချုပ်ရုံး
အတွင်းရေးမှူး
၃။ ဥပဒေပြုရေးဆိုင်ရာ ပူးပေါင်းဆောင်ရွက်ရေး လုပ်ငန်းကော်မတီ၏
လုပ်ငန်းတာဝန် များမှာ အောက်ပါအတိုင်းဖြစ်သည်-

(က)ပြည်ထောင်စုလွှတ်တော်နာယက၊ ပြည်သူ့လွှတ်တော်ဥက္ကဋ္ဌနှင့် အမျိုးသား
လွှတ်တော်ဥက္ကဋ္ဌ တို့က ဥပဒေရေးရာ အကြံဉာဏ် တောင်းခံပါက ဥပဒေရေးရာ
အကြံဉာဏ်ပေး ဖြစ်၊
(ခ)ဥပဒေကြမ်းတစ်ရပ်နှင့်စပ်လျဉ်း၍ ဆွေးနွေးညှိနှိုင်းရန်အတွက် ဥပဒေပြု
လွှတ်တော်များ ၏ဥပဒေကြမ်း ကော်မတီများ သို့မဟုတ် ပူးပေါင်းကော်မတီ တို့က
ဖိတ်ကြားလာက ပူးပေါင်းဆောင်ရွက်ခြင်း၊
(ဂ)အတည်ပြုပြီးသောဥပဒေကြမ်းတစ်ရပ်ကို ဥပဒေအဖြစ်ထုတ်ပြန်နိုင်ရေးဖွဲ့စည်းပုံ
အခြေခံ ဥပဒေ ပြဋ္ဌာန်းချက်နှင့်အညီ နိုင်ငံတော်သမ္မတထံ ပေးပို့လာက
လက်မှတ်ရေးထိုးနိုင်ရေး သုံးသပ်အကြံပြုပေးခြင်း၊
(ဃ)အဆိုပါဥပဒေနှင့် သက်ဆိုင်သည့် နည်းဥပဒေများနှင့် စည်းမျဉ်း စည်းကမ်းများ
ထုတ်ပြန်နိုင်ရန် ရေးဆွဲသောဌာနသို့ လိုအပ်သော ဥပဒေရေးရာ အကြံဉာဏ်
ပေးခြင်း။

၄။ ဥပဒေပြုရေးဆိုင်ရာ ကိစ္စရပ်များနှင့်စပ်လျဉ်း၍ ဥပဒေရေးရာ အကြံဉာဏ်များကို နိုင်ငံတော်သမ္မတထံ
တင်ပြနိုင်သည်။
၅။ ဥပဒေကြမ်းအပေါ် အကြံပြုရေးဆိုင်ရာ ပူးပေါင်းဆောင်ရွက်သည့် လုပ်ငန်းစဉ်တွင် လိုအပ်ပါက
နိုင်ငံတော်သမ္မတ၏ ဥပဒေ အကြံပေးအဖွဲ့၊ အဆိုပါဥပဒေကို ကျင့်သုံး
အကောင်အထည်ဖော်မည့်ဌာနနှင့် သက်ဆိုင်ရာဌာနတို့အား ဘာသာရပ်ဆိုင်ရာ အကြံဉာဏ်များ
ရယူရန် ဖိတ်ကြားနိုင်သည်။ ထိုသို့ ဖိတ်ကြားရာတွင် လိုအပ်လျှင် ပြည်ထောင်စုအစိုးရအဖွဲ့ထံ တင်ပြ
ဆောင်ရွက် နိုင်သည်။
၆။ ဥပဒေကြမ်းဆိုင်ရာအပြင် အခြားဥပဒေရေးရာ အကြံပြုရေး ပူးပေါင်းဆောင်ရွက်ရန် ဥပဒေပြု
လွှတ်တော်များနှင့် ယင်းတို့၏ ဥပဒေကြမ်းကော်မတီများ သို့မဟုတ် ပူးပေါင်းကော်မတီတို့က
ဖိတ်ကြား
လာကပူးပေါင်းဆောင်ရွက်ရမည်။
အမိန့်အရ
ဇော်သန်းသင်း
အတွင်းရေးမှူး
ပြည်ထောင်စုအစိုးရအဖွဲ့

Current Legislative Process in Myanmar



Daw Nant Aye Aye Kyi (DyDG)
U Kyaw Ze Ya (Director)
U Win Thein (Director)



- The largest country in mainland South East Asia
- 160,000 sq miles or 677,000 sq km
- About the size of UK and France combined
- Borders with China, Thailand, Bangladesh, Laos, India
- 7 Regions, 7 States, 1 Union territory, 1 Self-Administered Division and 5 Self-Administered Zones.



2



PYITHU HLUTTAW SESSION

3

MYANMAR CONSTITUTIONS

- **Constitution (1947)**
- **Constitution (1974)**
- **Constitution (2008)**

4

PRESENT LEGISLATURES

- **PYIDAUNGSU HLUTTAW (Schedule-1)**
- **7 REGION and 7 STATE HLUTTAWS (Schedule-2)**
- **5 SELF- ADMINISTERED ZONES and 1 SELF-ADMINISTERED DIVISION (Schedule-3)**

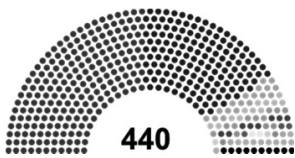

5

ABOUT HLUTTAWS

- Bicameral
- **Pyithu Hluttaw** (House of Representatives)
 - 75% representatives are elected from geographical constituencies
 - 25% are Defence Services Personnel nominated by the Commander-In-Chief of the Defence Services
- **Amyotha Hluttaw** (House of Nationalities)
 - 75% of representatives are elected in equal numbers from Regions and States
 - 25% are Defence Services Personnel nominated by the Commander-In-Chief of the Defence Services
- **Pyidaungsu Hluttaw** (Union Assembly) with members of both Houses

6

Pyithu Hluttaw (House of Representatives)






- 18 Parties
- 1 Individual
- Defence Services Personnel
- 420 Representatives including 26 Women

- USDP 214
- NLD 38
- Other Parties 57
- Individual 1
- Defence Services Personnel 110
- Vacancies 20

7

Amyotha Hluttaw (House of Nationalities)

- 17 Parties
- 1 Individual
- Defence Services Personnel
- 215 Representatives including 4 Women

- USDP 118
- NLD 5
- Other Parties 35
- Individual 1
- Defence Services Personnel 56
- Vacancies 9

8


PYIDAUNGSU HLUTTAW

-Pyidaungsu Hluttaw (joint Hluttaw) comprising the members of both the Houses of Representatives and Nationalities

-The role of Speaker is shared



Considers legislation when the two Houses don't agree

-Discusses important matters such as the Budget and Plans



9

SPEAKERS

H.E THURA U SHWE MANN
PYITHU HLUTTAW

H.E U KHIN AUNG MYINT
AMYOTHA HLUTTAW

10

DEPUTY SPEAKERS




H.E U NANDA KYAW SWA
PYITHU HLUTTAW

H.E U MYA NYIEN
AMYOTHA HLUTTAW

11

WHO CAN SUBMIT THE BILL

- Union Level Organizations (Bills included in Schedule - I)
- Union Cabinet (Bills for Planning, Budget and Tax)
- President (Bills for Union Territory Included in Schedule - II & III)
- MPs (Bills Included in Schedule - I)

12

Pyithu Hluttaw (House of Representatives)

- (4) Standing Committees
- (19) Ad- Hoc Committees
- (1) Commission

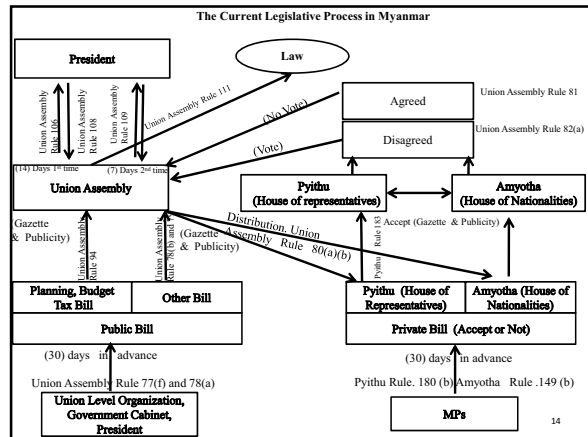
Amyotha Hluttaw (House of Nationalities)

- (4) Standing Committees
- (12) Ad- Hoc Committees
- (1) Commission

Pyidaungsu Hluttaw (Union Assembly)

- (2) Joint Committees

13



Promulgation

- 1st time - within (14) days. (Art.105)
- 2nd time - within (7) days. (Art.106)
- Gazette (Art.107)

15

Lists of Promulgated Law

- Laws signed by the President . (133)
- Laws not signed by the President. (9)

As of 27th February 2015

16

Issuing Rules and Regulations

- Rules, Regulations and by-laws are authorized by the Union Level Organizations (Art. 97 (a) of the Constitution)
- Orders ,Notifications and Procedure are authorized by the Government Department . (Art. 97 (b) of the Constitution)
- The Union Level Organizations shall distribute such Rules, Regulations and by- Laws to the Union Assembly.(Art .137 (a) of the Constitution)
- When some provisions of such Rules, Regulations and by Laws are found contrary to relevant law, MPs shall make the proposal to amend or annul to the Hluttaws within (90) days . (Art- 137 (b) of the Constitution)

17

Problems in the Current Legislative Process


- Almost MPs are poor legal background and poor skills. (Capacity Building)
- Staffs are also poor knowledge and experience for the works of legislative process. (Capacity Building)
- Almost people have read less although Bills are published, so they couldn't well participate in the process. (Awareness)
- Legal awareness for those who implementing operators and follower. (Awareness)
- Time frame or time limitation .
- Although received some comments and views from the public, they are seldom taken into account by MPs.
- Although totally (142) Laws have been passed until today, every single law need to be take much time for deeply insightful.
- Cooperation and Coordination between Hluttaws and Hluttaw and union level organization.

18

**THANKS YOU FOR YOUR
ATTENTION**

19

The Republic of the Union Of Myanmar
Union Attorney General's Office



The Role of Union Attorney General's Office
in the process of Legislative Vetting

Aung Naing
Director
Legislative Vetting Department

1

Constitution

- The Constitution of the Republic of the Union of Myanmar came into force on 31st January, 2011.
- Under Section 11, the three branches of sovereign powers are separated and exert reciprocal control, check and balance among themselves.
- Under section 12, the legislative power is empowered to Pyidaungsu Hluttaw, Region or State Hluttaws and Self-Administered Areas.
- Each Legislative List is provided with Schedule 1, 2 and 3.

2

Submission Bills to Pyidaungsu Hluttaw

- Bills relating to Schedule - 1
- Bills relating to national plans, annual budgets and taxation, which are to be submitted by the Union Government
- Bills may be submitted by Union Level Organizations in accord with prescribed procedure.
- Bills may be submitted by Union Government in accord with prescribed procedure.

3

Union Level Organizations

- Pyidaungsu Hluttaw, Pyithu Hluttaw and Amyotha Hluttaw,
- The Union Government,
- The National Defense and Security Council,
- The Financial Commission,
- The Supreme Court of the Union
- Constitutional Tribunal,
- Union Election Commission,
- The Union Civil Services Board.

4

Drafting Process

- Union Ministries and relevant Organizations draw drafts which they can administer concerning the matters to enact and amend.
- Union Ministries send drafts to Union Attorney General's Office for vetting.
- Other Union Level Organizations send drafts to Union Attorney General's Office if necessary.

5

The Role of UAGO regarding with Drafting

- Section 12(c) of Attorney General of the Union Law, tendering legal advice when requested by the President, Speakers of Hluttaws, Union Level Organizations, Ministries of the Union or Nay Pyi Taw Council,
- To perform these duties Legislative Vetting Department is formed with the following Divisions;
 - (i) Legislative Vetting Division,
 - (ii) Rules, Regulations, Orders and Directives Vetting Division,
 - (iii) Legal Translation and Vetting Division and
 - (iv) Constitutional Division.

6

Legislative Vetting Criteria

- To be conformity with the Constitution and existing laws,
- To be conformity with Policies and Objectives of the State,
- To be favor of protection and safeguarding the State and public interest,
- To take care the facts affecting and harmful to perpetuation and security of State,
- To take care not to affect the security of people and property,
- To abstain from the writings and usages that affect and nullify national unity,
- Not to affect the customs of national race,

7

- Not to confuse the authority of Ministries or Organizations each other,
- Not to violate the sovereignty of the State and to be conformity with International Conventions and regional agreement agreed and accepted by the State,
- To include matter of principle which are relevant to the Law concerned.

8

Procedure and Format for Vetting

- Preamble
 - Objectives of the provision of the Law,
 - Title of the Law,
 - Date of Law to come into force,
- Body
 - Not to overlap and omit the important fact,
 - To be conformity with the Interpretation of Expressions Law, 1973, or Orders,
 - Smooth and easy performance when implementing,

9

- To have separate Chapters,
- To take care not to punish more than once for same offence in mentioning offences and penalties,
- The Miscellaneous Chapter
 - To mention exemption, Sanction, Special burden of proof,
 - Authority to issue notifications, orders, and directives if necessary,
 - To mention which the law is repealed, (if any)

10

- When the Draft Law is Vetted by relevant Division,-

- submit to Deputy Director General, Head of the legislative vetting Department;
- Vet, confirm and submit to Attorney General through Deputy Attorney General;
- Giving advice Draft Law by Attorney General and send to relevant Ministry or Organization.

11

The Role Of UAGO regarding with Bills in Hluttaws

- In vetting process, the Union Attorney General's Office is invited by Pyithu Hluttaw, Amyotha Hluttaw and Joint Bill Committee to discuss concerning the Bill.
- In Such discussing, the members of the Legislative Joint Cooperation Committee led by the Deputy Attorney General formed by the Union Government attend and tender the necessary advice and discussion on behalf of the Union Attorney General's Office.
- The Committee includes Deputy Director General, Head of the Department, 3 Directors and 1 Deputy Director.

12

• Challenges and Difficulties

- Scarcity of drafting scholars in Ministries and Organizations,
- Only 15 officers of UAGO for the draft laws of 36 Ministries,
- Need technical skills for Oriented Market Implementation and 30 officers trained in Japan are operating,

13

- Being 2/3 of Laws enacted in English, need Legal English Proficiency,
- The Bill of the "Law Translation Commission" under the process to enact,

14

Review

- It is necessary to open Legislative Drafting and Vetting Training to have experts and to develop technical skills for Union Government, Union Level Organizations and UAGO.

15

Thank You !!

Aung Naing
Director
Legislative Vetting Department
Union Attorney General's Office

16

The Role of the Union Supreme Court of Myanmar on Drafting Process

Presented by
Aye Aye Thein
Director
Law and Procedure Department
Office of the Supreme Court of the Union

Contents

- Introduction
 - Legal Drafting Process in the Supreme Court of the Union
 - Repealed, Amended and Renewed laws which are administered by the Supreme Court
 - Difficulties in Legal Process in the Supreme Court of the Union
 - Conclusion
-

Introduction

- Judicial and Administration functions speedily and effectively
 - 52 existing laws administrated by the Supreme Court of the Union
 - Legal Drafting Process
-

Legal Drafting Process in the Supreme Court of the Union

- Law and Procedure Department
 - Drafting Committee
 - Administration Committee
 - Procedures for Legal Drafting Process
-

Repealed, Amended and Renewed laws which are administered by the Supreme Court

- Repealed Laws**
 - The Custodian of Moveable Property Act
 - Special Limitation and Limitation of Interest Act
 - The Whipping Act
-

Repealed, Amended and Renewed laws which are administered by the Supreme Court

- Laws Amendment**
 - Amendment of Transfer of Property Act
 - Amendment of Union Judiciary Act
 - Amendment of Limitation Act
 - Amendment of Civil Procedure Code
 - Penal Code
 - Criminal Procedure Code
-

Repealed, Amended and Renewed laws which are administered by the Supreme Court

New Laws

- The Arbitration Law

 - Insolvency Law
-

Repealed, Amended and Renewed laws which are administered by the Supreme Court

The Arbitration Law

■ **Reasons**

- Outdate and inadequate provisions

 - Provisional weakness and problems in practice
-

Repealed, Amended and Renewed laws which are administered by the Supreme Court

■ **Legal Drafting Process**

- Exploring issues in theory and practice

 - Lessons from UNCITRAL Model and national statutes and practices of developed countries

 - Considering the suitable system for Myanmar
-

Repealed, Amended and Renewed laws which are administered by the Supreme Court

Insolvency Law

■ **Existing Insolvency Laws**

- Yangon Insolvency Act
- Myanmar Insolvency Act

■ **Reason**

- Outdated and inadequate provisions

Legal Drafting Process

- Examining the UNCITRAL Model Law and Bankruptcy Act of Singapore and experiences of other countries
-

Difficulties in Legal Drafting Process of the Supreme Court of the Union

- Improvement of human resource development
 - Lack of the system of exploring international legal materials, judicial practices and journal article from famous websites
 - Necessity to learn the domestic and foreign legislations and legislative process
-

Conclusion

- Learn the method of legal drafting process

 - Explore the system of other countries

 - Perform the legal drafting process systematically and effectively
-



研修員によるプレゼンテーション②
「立法過程の改善に関する提案」

大統領府スライド資料

Exchange of opinion

by

Nyan Naing Win
Presidential Legal Advisor
Office of the President

Needs for amending laws in flexible and speedy manner in legal practice
Ms. Takara

- > Stock exchange
- > Jwg/Mwg
- > insider trading
- > Stock trading before not register as listed co
- > disclosure
- > financial statement
- > Challenges- continue implementing the law with the assistance of relevant expert

Legislative Bureau of House of Representatives
Ms. Yoshizawa

- > Private Bill
- > Public Bill 89.2%
- > Whether consistent with the constitution existing laws
- > Drafting practice
- > R o l
- > accountable

Legislative process in Japan in comparison with process in other countries
Prof. Hasebe, Waseda University

- > importance of rol in legislative process
- > parliamentary system
- > difference of US,UK,France
- > review of constitution
- > preparation for legislative process
- > preparation of bill by MP
- > Government legislative committee(Conseil d'Etat)
- > submission of opinion to the government

Legislative process in ASEAN countries
Mr. Imaizumi, Director, IDE

- > e.g Thailand
- > parliament approve
- > no assent of the King
- > become law
- > parliament amend the law as they respect their king
- > Myanmar has friction between legislature and executive
- > this challenge should address

Drafting civil related laws
Mr. UCHINO

- > Drafting Bankruptcy law
- > 2004
- > responding financial crisis
- > as Myanmar is practicing market oriented economic system ,Myanmar need to enact this kind of law with the assistance of reliable experts

Drafting of criminal related laws Mr. Kunogi

- Legislating with plan
- legal review and scrutiny committee
- drafting process
- whether it is in line with constitution, existing laws
- references
- discussion with relevant ministries
- inclusiveness e.g victim of offence
- challenges
- Myanmar need to think inclusiveness of victim

Legislative process and bureaucracy

Prof. Makihara, University of Tokyo

-Focal ministry initiate draft law

-Important laws initiated by Prime Minister

Formulation of rules on legislative process and sharing them among stakeholders

Prof. Matsuo

- Legislative Drafting
 1. Research
 2. Drafting
 3. Scrutinize by legislature.
- TOR for legal Scrutinizing Committee for drafting the Code.
- Systematically crafted the CODE

Lessons Learnt From Study Tour

- Participants are eager to learn from every lesson to justify their problems.
- Diverse groups learning together to solve their problems.
- Good Chance to Understand each other to reduce the frictions between L & E by submitting the advice to the authorities when they have chance.
- When there is a will, there is a way.
- Cooperation is essential in every level.

Thank you for your attention.

Nyan Naing Win



Problem - Weak skills and experience of staffs and MPs on legal matters .

Reason - Most of them didn't graduate from law faculty university.

Future Activities

- Recruitment (exam team)
- Establishment of the legislative support group
- Training (inside, outside ,study tour to foreign countries)

3

Problem -Not necessary information and data to support MPs' vetting of the public bills

Reason - Internet connection
- IT skill , Library

Future Activities

- Recruitment (IT skill , English skill)
- Training for Research Department
- Cooperation between governmental organizations , Bill Committee and Research Department

4

Problem - Weak to consider the suggestions of people.

Reason - People do not have interests in bill, some of MPs do not consider people's suggestion.

Future Activities-

- Public comment (not only collection but also announcement of collected comments)
- Website
- Newspaper

5

Problem - Much time for vetting for public bills in two Houses .

Reason - Many amendment are necessary .
Two vetting processes .

Future Activities

- Consultation meeting between ministers and MPs ,(Bill Committee Chairperson and relevant committee Chairperson) before submitting bills

6


THANK YOU



7

連邦法務長官府スライド資料

The Comparative Study of Legislative Process Between Myanmar and Japan



Aung Naing
Director
Legislative Vetting Department

- The legislative process of Myanmar and Japan are nearly the same.
- However, Myanmar legislative process can be found some weak points and necessities.
- The weak points and necessities may be studied by comparative tables .

Issues and challenges in legislative process in UAGO	Experiences in Japan	Possible Solution
Unavailable Specific Guidance except from the criteria as provided in Attorney General Rules	Available Specific Guidance for drafting;	Need an accurate Procedural Guide
Weak function of reviewing laws in UAGO	Review Laws by Cabinet Legislative Bureau;	Reorganization of UAGO structure

Issues and challenges of Myanmar	Experiences in Japan	Possible Solution
Less Cooperation and coordination among Union Ministries and UAGO;	Preliminary review by Cabinet Legislative Bureau	Creating efficient coordinating system among Union Ministries and UAGO (e.g. preliminary review by UAGO);
It has to be vetted in rush without receiving public comment and studying relevant foreign laws	Preparation and discussion before draft law; Record and publish the result ,and invite the opinion of society; Amend and substitute when necessary base on public comment and draft law;	Creating general policy through consultation with scholars and stakeholders before drafting laws;

Issues and Challenges of Myanmar	Experiences in Japan	Possible Solution
Lack of Capacity in drafting laws by Ministries;	Trained experts in Ministry; Reflecting opinions of Research groups to the drafts of laws before revising and promulgation of law;	Need to share knowledge of Japan to relevant Ministries;
Less Cooperation and coordination among Union Ministries;	Cooperate and coordinate for drafting among Ministries;	Creating the efficient coordination system.

Thank you for your attention!!

Aung Naing
Director
Legislative Vetting Department

Challenges and Solutions in Legal Drafting Process of Union Supreme Court

Daw Aye Aye Thein
Director
Law and Procedural Department of
OUSC

1. Introduction

- 1. Developing Market Economy
- 2. Necessity to make or amend the laws to meet International Legal Standard,
- 3. Useful and fruitful study tour in Japan,

2. Lessons learnt from Study Tour In Japan

- 1. Drafting related laws by Ministry-wise in Japan,
- 2. Setting legal frameworks, forming commission and specialized groups including scholars & stakeholders from 10 to 20 people,
- 3. Formating drafting processes with time frame,

- 4. Hearing Public Comments,
- 5. Submitting necessary facts and findings found from the Public Comments to Legal Advisory Group,
- 6. Checking Draft with legal norms of Japan,
- 7. Cooperation and Coordination with concerned ministries and stakeholders,

- 8. Submitting draft to Cabinet Legislative Bureau for checking,
- 9. Approval not only from Cabinet but from the Ruling Party,
- 10. Sending Bill before Senate & House of Representative to approve,

3. Challenges

- 1. Legality/ Legitimacy of drafting laws by the Supreme Court of Myanmar,
- 2. Systematic ways for legal drafting,
- 3. Almost all laws administered by OUSC are written in English as official text,
- 4. Insufficient human resources,
- 5. Lack of research skills and database,

- 6. More legal knowledge needed (opportunity to study in abroad)
- 7. Lack of cooperation and coordination,
- 8. Need to formulate special drafting team systematically,

4. Solutions

- 1. Not easy to change this situation,
- 2. Needs assessment for legal drafting, making framework before drafting, research existing laws for consistency and public comments,
- 3. Needs to translate all related laws administered by OUSC from English version to Myanmar version,
- 4. Capacity-building and appointing more legal experts,
- 5. Establishing modern library and accessible databases,

- 6. Necessity to study in long term and short term in foreign countries,
- 7. Discussing with the ministries concerned to cooperate and coordinate,
- 8. Reconsidering to reform special drafting team,

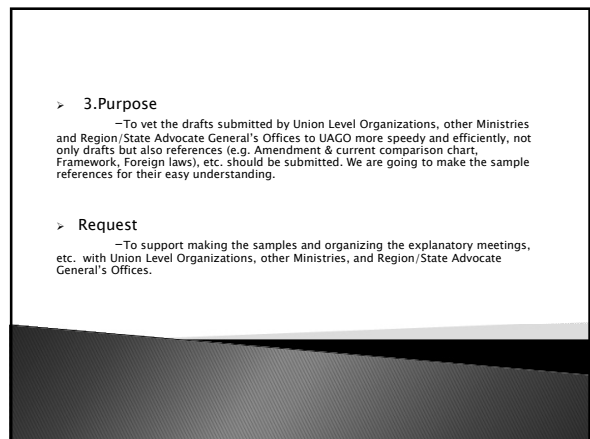
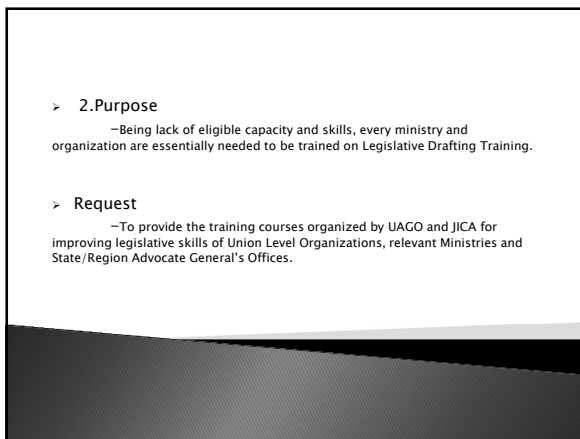
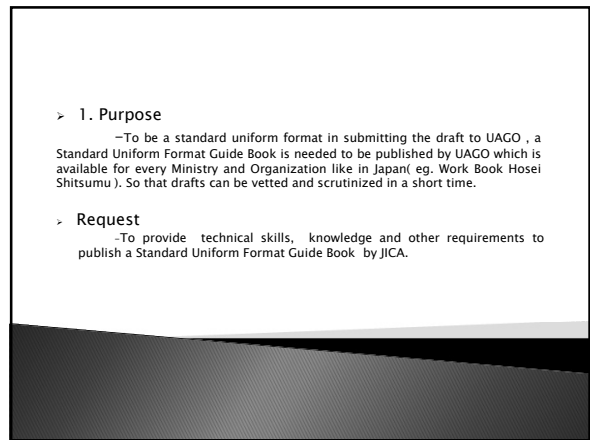
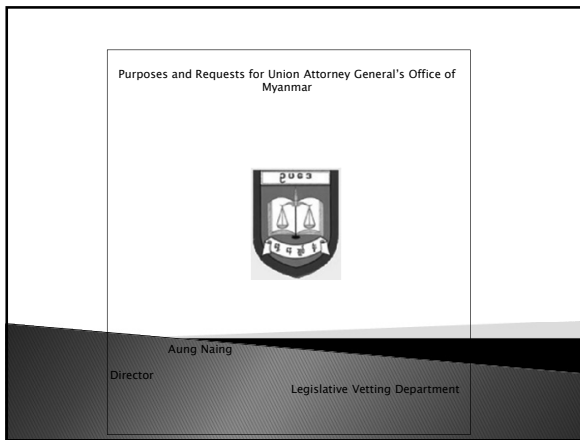
5. Conclusion

1. striving hard to do not only its judicial and administrative functions but also legal drafting in cooperation with international organizations,
2. Upgrading Human Resources,
3. Outsourcing specialized legal experts,
4. Sending HR to get international legal expertise and knowledge,

6. Making efforts to improve cooperation and coordination among concerned ministries and stakeholders,

研修員によるプレゼンテーション③
「将来的なプロジェクト活動及びプロジェクトに関する要望」

連邦法務長官府スライド資料



Legal Drafting Process of the OUSC and Necessity

Purpose

- To apply in legal drafting process of the OUSC from the lessons learnt in the 3rd Study Tour of Japan,

Implementation of Work Plan 2015 of JICA

- 1. To Prepare for Explanatory note,
- 2. To draft a Insolvency Bill,
- 3. To learn the court procedures relating to digital evidence and Intellectual Property Court,
- 4. To review the necessary procedures,

Needs

- 1. Legal Materials and necessary Knowledge for setting up Database system,
- 2. Legal materials of other countries such as Law books, Commentary books and Law Reports of other countries,
- 3. comments from the Legal Experts,
- 4. Seminar,
- 5. Short and Long Term training,

- **Thanks Millions**

ミャンマー法整備支援プロジェクト第3回本邦研修 研修員

1	ニャン ナイン ウィン
	Mr. Nyan Naing Win Presidential Legal Advisor, Legal Advisory Team, Office of the President 大統領府 法律助言チーム 法律顧問
2	ナン エイ エイ キ
	Ms. Nant Aye Aye Kyi Deputy Director General, Session and Committee Department, Pyithu Hluttaw Office 連邦議会(下院) 本会議・委員会担当事務局 事務局次長
3	チョウ ゼ ヤ
	Mr. Kyaw Ze Ya Director, Joint Bill Committee Department, Pyidaungsu Hluttaw Office 連邦議会(合同院) 合同法案委員会担当局 部長
4	ウィン ティン
	Mr. Win Thein Director, Bill Committee Department, Amyotha Hluttaw Office 連邦議会(上院) 法案委員会担当局 部長
5	アウン ナイン
	Mr. Aung Naing Director, Legislative Vetting Department, Union Attorney General's Office 連邦法務長官府 法令審査調査局 部長
6	ティン ジ ウィン
	Ms. Tin Yi Win Director, Legal Vetting and Scrutinizing Department, Union Attorney General's Office 連邦法務長官府 法令審査調査局 部長
7	チョウ ニュン
	Mr. Kyaw Nyunt Deputy Director, Legislative Vetting and Advising Department, Union Attorney General's Office 連邦法務長官府 法令審査助言局 次長
8	アウン ミン ティン
	Mr. Aung Min Thein Law Officer (Grade-3), Legislative Vetting and Advising Department, Union Attorney General's Office 連邦法務長官府 法令審査助言局 局付
9	エイ エイ ティン
	Ms. Aye Aye Thein Director, Law and Procedure Department, Supreme Court of the Union 連邦最高裁判所 法案起草局 部長
10	キン ラ キ
	Ms. Khin Hla Kyi Deputy Director, Criminal Justice Department, Office of the Union Judicial Supervision, Supreme Court of the Union 連邦最高裁判所 刑事局 次長
11	エイ エイ キン
	Ms. Ei Ei Khin Assistant Director, Law and Procedure Department, Supreme Court of the Union 連邦最高裁判所 法案起草局 部長補佐
12	ミン タン
	Mr. Min Thant Staff Officer, Law and Procedural Department, Supreme Court of the Union 連邦最高裁判所 法案起草局 局付

【研修担当/Officials in charge】

教官 / professor 野瀬 憲範(NOSE Kazunori)

国際協力専門官 / Staff Officer 若生耕介(WAKAO Kosuke)

ミャンマー第3回本邦研修日程表

日	曜	10:00	12:30	14:00	15:00	17:00	
3 /	日	移動日					
3 /	月	10:00 【JICAブリーフィング】	12:30	14:00 【ICDオリエンテーション】	15:00	17:00 【演習】 発表準備	
		TIC		TIC		TIC	
3 /	火	10:00 【発表】 ミャンマー側からの発表 「ミャンマーにおける立法過程のプロセスと課題」	12:00	12:15 13:15 所長主催 意見交換会	14:00	17:00 【発表】 ミャンマー側からの発表 「ミャンマーにおける立法過程のプロセスと課題」	
		赤れんが 共用会議室		日比谷パレス	赤れんが 共用会議室		
3 /	水	9:30 【講義】 「実務に応じた柔軟かつ迅速な法改正の必要性」	12:00	14:00 【訪問・講義】 衆議院法制局訪問/講義	17:00		
		株式会社日本取引所グループ 調査役・弁護士 高良美紀子 赤れんが 共用会議室		衆議院法制局			
3 /	木	10:00 【講義】 「日本の立法過程～諸外国との比較を交えて①」	12:30	14:00 【講義】 「日本の立法過程～諸外国との比較を交えて②」	17:00		
		早稲田大学 教授 長谷部恭男 赤れんが 共用会議室		早稲田大学 教授 長谷部恭男 赤れんが 共用会議室			
3 /	金	10:00 【講義】 「ASEAN諸国における立法過程について」	12:30	14:00 【講義】 「民事関係法令の起草について」	17:00		
		JETROアジア経済研究所 研究企画課長 今泉慎也 赤れんが 共用会議室		法務省民事局参事官室 参事官 内野宗揮 赤れんが 共用会議室			
3 /	土						
3 /	日						
3 /	月	10:00 【講義】 「刑事関係法令の起草について」	12:30	14:00 【講義】 「官僚組織と立法過程」	17:00		
		法務省刑事局 刑事法制管理官 局付 榑 清隆 赤れんが 共用会議室		東京大学 先端科学技術研究センター 教授 牧原出 赤れんが 共用会議室			
3 /	火	10:00 【講義】 「立法過程のルール化及び関係者間での共有の重要性」	12:30	14:00	15:00	17:00 【演習】 発表準備	
		慶應義塾大学 教授 松尾弘		赤れんが 共用会議室		赤れんが 共用会議室	
3 /	水	10:00 【演習・発表】ミャンマー側からの発表/講評・意見交換 「立法過程の改善に関する提案」	12:30	13:00	17:00		
		慶應義塾大学 民事局参事官室 刑事局法制管理官 教授 松尾弘, 参事官 内野宗揮, 局付 榑 清隆			赤れんが 第6教室		
3 /	木	10:00 【講義】 「立法過程における関係団体の関与について」	12:30	14:00 【演習】 総合発表準備	17:00		
		日本経済団体連合会 上席主幹 和田照子 赤れんが 共用会議室		赤れんが 共用会議室			
3 /	金	10:00 【発表・総括質疑応答】 ミャンマー側からの総合発表/総括質疑応答 「将来的なプロジェクト活動及びプロジェクトに関する要望」	12:00	12:15 【評価会・修了式】			
		TIC		TIC			
3 /	土	移動日					